

Title	日本の機関リポジトリとそのテーマ2008：事例発表 ～ JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画 ～
Author(s)	寺田, 美樹
Citation	
Issue Date	2008-11-27
Type	Presentation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/5904
Rights	
Description	第4回 DRFワークショップ発表資料 （平成20年11月 27日 パシフィコ横浜 第10回図書館総合展 フォーラ ム第10会場）



日本の機関リポジトリとそのテーマ2008:事例発表 ～ JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画 ～

北陸先端科学技術大学院大学
学術情報サービス室 学術管理係 寺田 美樹



本日の内容

- リポジトリの概要
- 事例紹介：リポジトリ充実計画
 - 平成19年度の状況，平成20年度の実施計画
 - ＜学術雑誌論文の収集＞
 - 方針の決定，収集方法，スケジュール
- 今後の予定

リポジトリの概要



●平成19年5月30日より運用開始

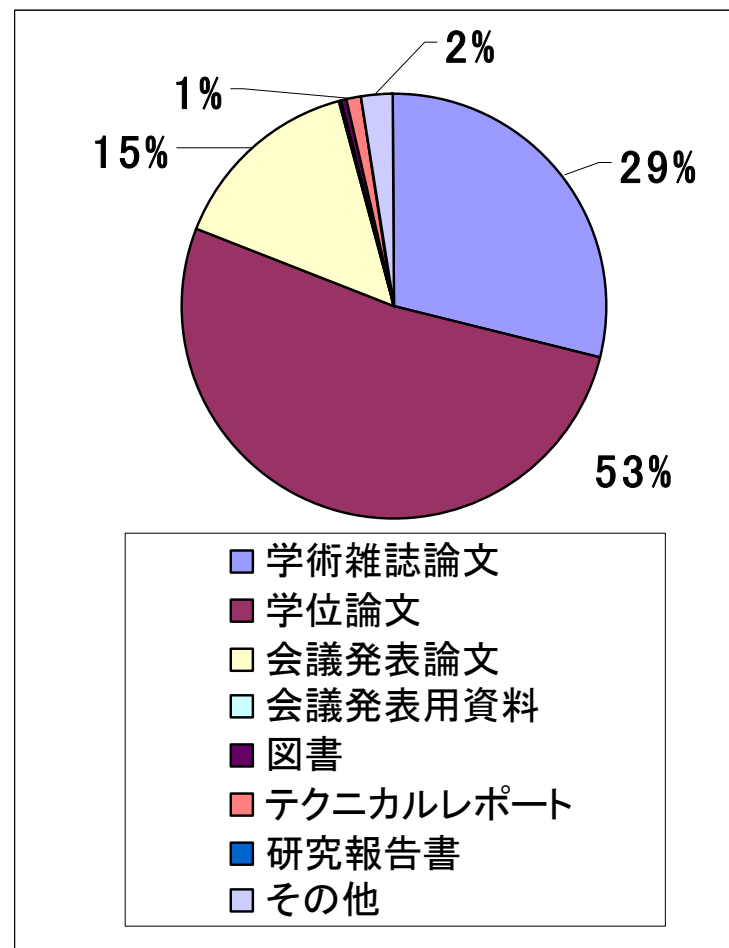
●登録件数 4,348件 学外公開の本文データは2,045件（平成20年10月31日現在）

<https://dspace.jaist.ac.jp/>

資料別件数

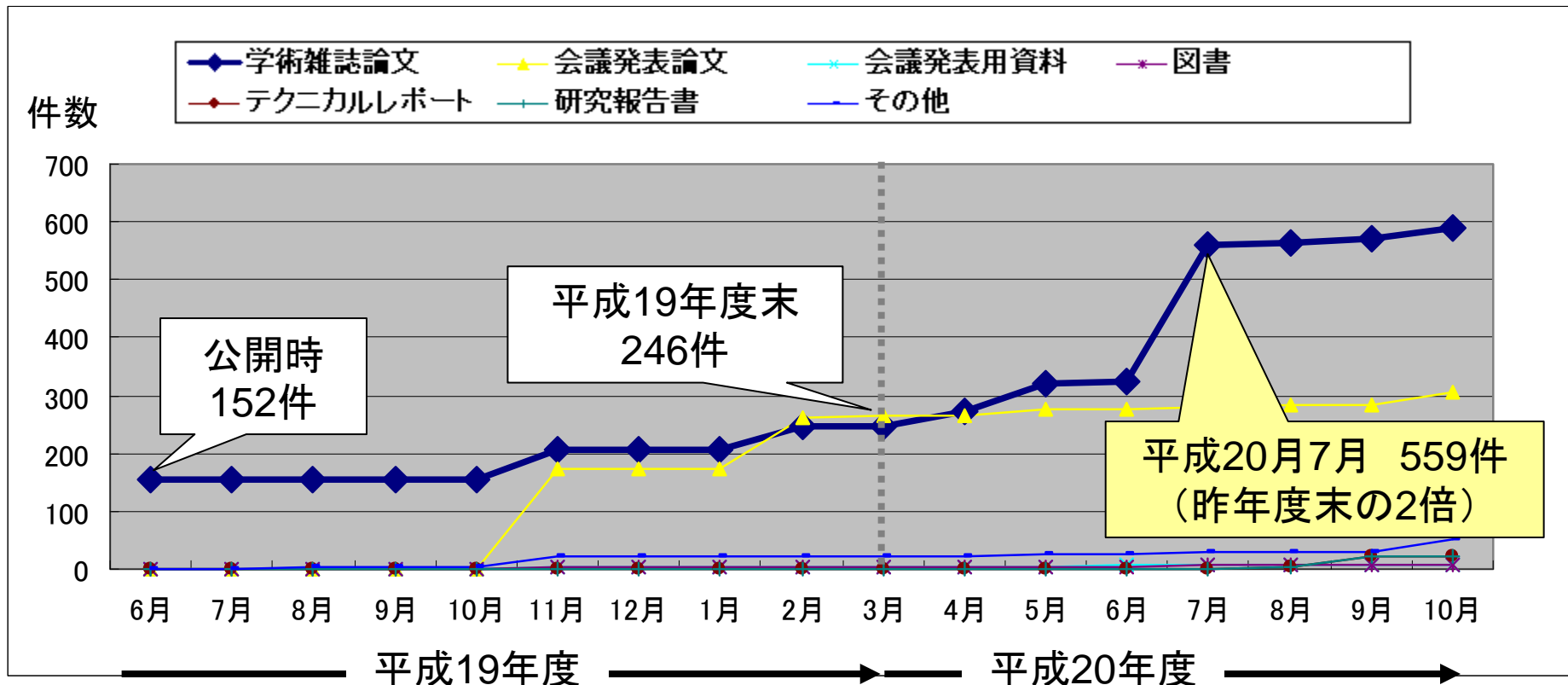
(学外公開の本文登録数)

資料タイプ	件数
学術雑誌論文	588
学位論文	1,067
会議発表論文	305
会議発表用資料	6
図書	5
テクニカルレポート	23
研究報告書	1
その他	50
合計	2,045



(平成20年10月31日現在)

コンテンツ増加状況 (学位論文以外)



登録希望調査

自主的な論文提供

リポジトリ充実計画

収集方針・方法の見直し



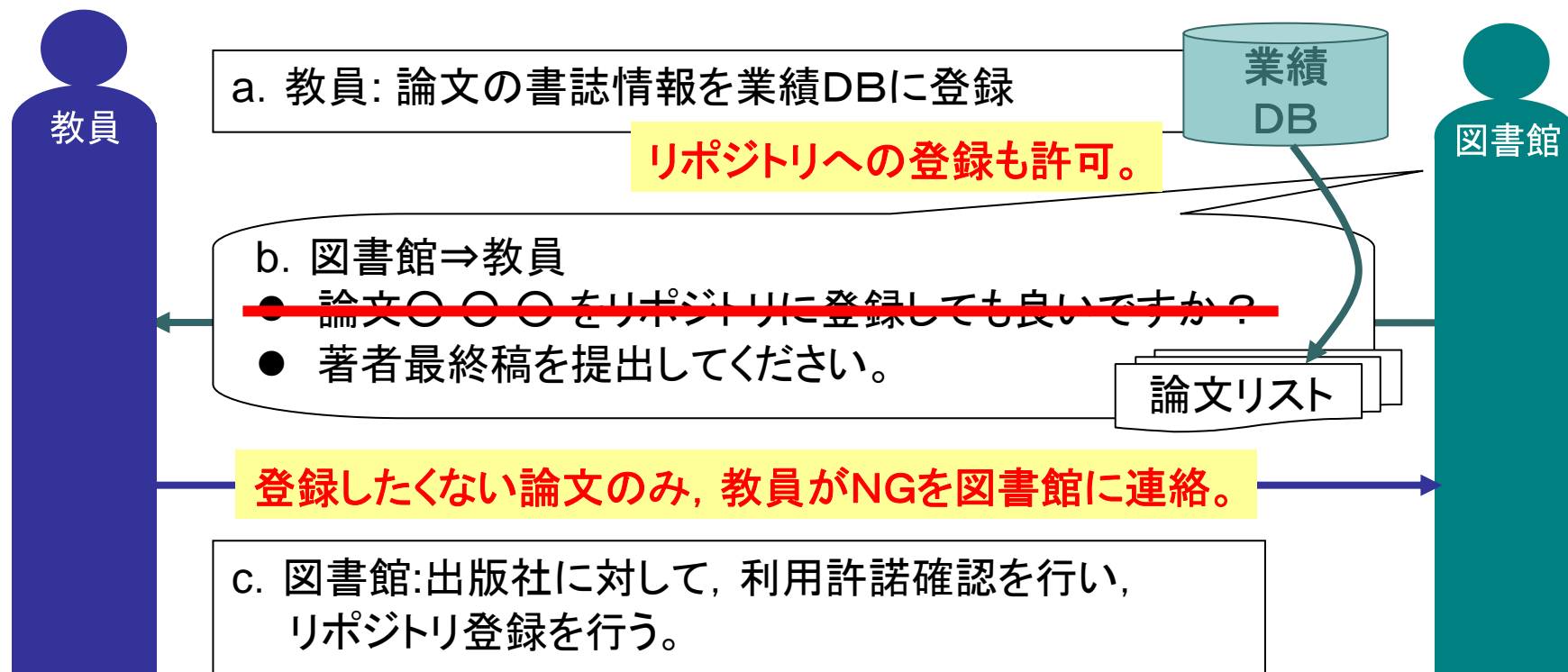
事例紹介 リポジトリ充実計画

- 論文収集方針
- 論文収集方法
- スケジュール

リポジトリ充実計画

《論文収集方針》

業績データベースのデータ利用し、学術雑誌論文を収集する。



業績DBに登録されている論文は、教員からの申し出がない限り、リポジトリ登録を認めるものとし、論文のリポジトリ登録を行う。

リポジトリ充実計画

《論文収集方法》

出版社の許諾条件に合わせて出版社を分類し，論文収集を行う。

出版社群	出版社版 の登録	図書館で 入手(OJ)	作業
出版社A群 AIP, APS, IEEEなど	○	○	図書館で出版社版を入手し登録。
出版社B群 信号処理学会, 日本認知科学会など	○	×	教員が出版社版を提出し登録。
出版社C群 Elsevier, Springerなど	×	×	教員が著者最終稿を提出し登録。

リポジトリ充実計画 《スケジュール》

《第1次》

過去論文
(平成18年度まで)

Step1: 出版社群見直し

Step2: 出版社A群収集(平成18年度以前)

Step3: 出版社B, C群収集(平成18年度以前)

《第2次》

前年度の論文

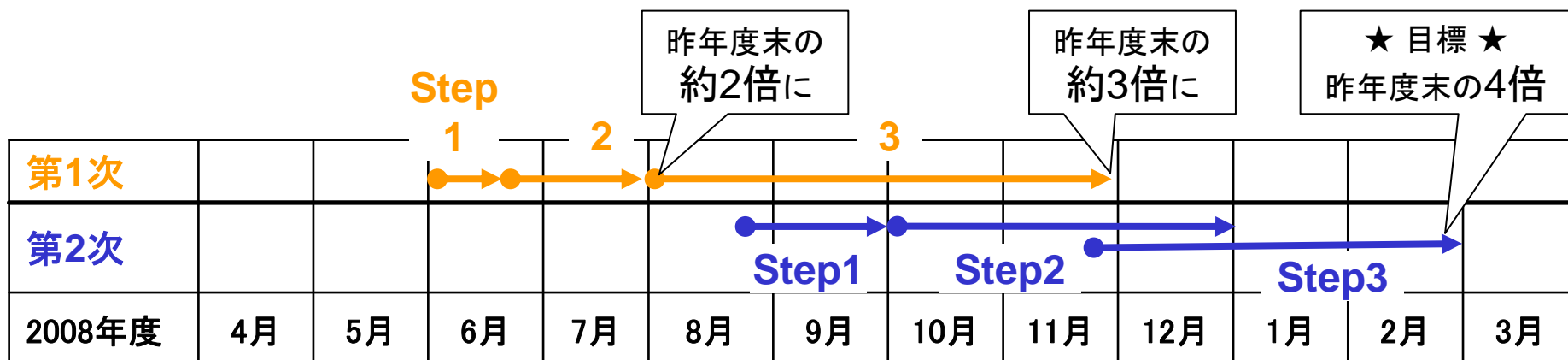
Step1: 出版社群見直し

Step2: 出版社A群収集(平成19年度 ※)

Step3: 出版社B, C群収集(平成19年度 ※)

※出版社群の見直しで追加された出版社は過去の論文から収集

これから
毎年実施!





著者最終稿の収集

- 著者最終稿と説明しても、出版社版を提出する先生が多数。
- 研究科によっては、corresponding author でないと難しい。
- 著者最終稿の様々な違い

例えば、

「スタイルファイルを使って原稿を作成しているがその原稿はOK？」
「ロゴマークがある。コピーライト文が入っているけど、著者版の原稿？」
「個人会員としてダウンロードしたPDFをリポジトリに登録してもよい？」

雑誌によって様々。
出版社に直接「聞く」ことで解決！！



まとめ・今後の予定

コンテンツの収集を継続。
そして利用されるリポジトリに！

- 毎年、同じスケジュールで作業
着実にコンテンツを獲得
- 学術雑誌論文以外のコンテンツの収集
COEの研究成果などコンテンツ拡充
- 論文を効果的に発信
CiNii連携, Googleサイトマップ登録